



聞いてなるほど!

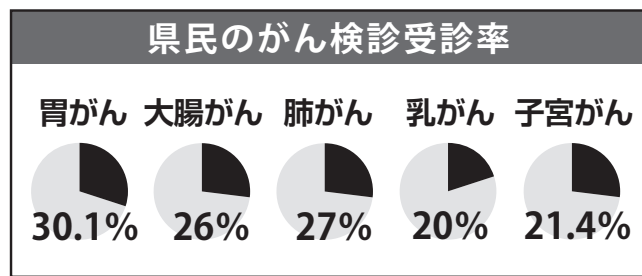
全5回シリーズ
第4回・下

すこやかレシピ

～もっと笑顔で
もっと元気に～

主催／(財)静岡健康管理センター、静岡新聞社・静岡放送

受診率 50%を目指す理由



(出典 平成19年国民生活調査)

人口の比率で考えると、先進国の中で日本はがんで亡くなる人の数がワーストと言われているでしょう。理由はただ一つ、検診を受ける人が少ないからです。先進国の検診の受診率は80%を超えています。日本だけは20%台にとどまっています。県内でもほぼ同様です。

日本への検査環境が整っている国はありません。CT(コンピュータ断層撮影装置)、PET(陽電子放射断層撮影装置)、MRI(磁気共鳴画像検査装置)、胃カメラ、大腸カメラなどは、人口比率で考えると、世界トップクラスの設置台数です。

このような国でなぜ、こんなに多くの人ががんで亡くなるのでしょうか。

それは、検診を受ける人が少ないからです。検診を受けないということは、命を捨てるのと同じことです。

がん死亡率が高い日本

がん検診がなぜ重要か？

命に対して用心深い人が長生き

国で定められた5つのがん検診というのがあります。胃がん、大腸がん、肺がん、子宮がん、乳がんです。知っていても、自分はがんになることはないと思ってしまう人が多いと思います。それは油断です。

私は40年以上、医者をしてきました。そして、20年余り前に気がついたことがあります。元気で長生きする人は、本当に命に関して用心深いのです。

5つの検診が選ばれたのは、治る可能性と、少ない費用で見つかる確率が高いからです。また、検診を受けた人は、明らかに受けられない方よりも長生きします。例えば、がんになったとしても、切り抜けることができます。

半面、すい臓がんは検診にはあまり適しません。検査方法がありますが、非常に高額で、見つけにくいのが現状です。

今、国が定めている検診に加わる可能性があるのが前立腺がんです。非常に急速な勢いで日本が増えました。肺がん、胃がんの次に多くなっています。欧米では既に、男性では一番多いがんです。

検診で大幅に上がる生存率

1993年から96年に診断した人のデータを見てみましょう。胃がんを検診で発見

すると5年後の生存率は87.8%に達していますが、検診以外で見つかる5年後の生存率は91.5%ですが、検診以外では62%にとどまります。検診でがんが見つければ、明らかに生存率は高くなります。

また、検診を受ければ、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮がんは5-9割以上の確率で早期のうち、がんが見つかります。

初期のがんが見つかった場合の5年後の生存率も見てみましょう。胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がんは9割以上です。肺がんは少し低くなりますが、4割以上の人が治ります。

早く見つければ、胃がん、大腸がんだったら、おなかを切らずに、内視鏡でがんを切除することができますので、体に対するダメージはるかに小さくなります。

特に残念なことは大腸がんの2次検査(大腸ファイバースコープ検査)を受けない人が多いことです。便を2日間調べるのが突破口になり、異変があると詳しい検査を勧めます。しかし、心理的な抵抗があるためでしょうか、なかなか検査に行ってもらえません。

諸外国の事例を見てみると、がんの検診が50%を超えると、早期がんの発見率が急速に高まること分かっています。

遠山 和成 (とよやま・かずしげ) さん

静岡健康管理センター所長

県立静岡高、京都大医学部卒。県立総合病院外科医長、副院長を歴任し、2006年から現職。検診マンモグラフィ読影認定医、日本医師会認定産業医の資格も持つ。

	5年後の生存率	
	検診で発見	検診以外で発見
胃がん	87.8%	53.3%
大腸がん	91.5%	62.0%
肺がん	45.8%	16.3%
乳がん	92.8%	83.7%
子宮がん	94.1%	71.3%

(財)がん研究振興財団 1993-1996 診断 がん統計6 登録)

います。がんを身近に感じるようになり、がんに対する理解度も一気に深まります。身近な人にかん検診を勧めたり、勧められたりするケースも増えるはずです。

がんは治療の進歩で、延命が図られるようになってきました。例えば、これまで再発して、半年しか生きられなかったケースでも、4-5年生きることができるようになったのです。がんが進行すると、非常に高価な抗がん剤を使わなければならない事態になります。早期に発見できれば、高価な抗がん剤は不要になり、経済的な負担も減ります。

一番いいのは、もちろん、がんにならないことです。欧米では1980年代の初めから、国の健康施策として生活習慣のアドバイスをしています。がんにならない食事、運動などを具体的に国民に示しています。残念ながら日本は非常に遅れています。がんにならない食生活、運

命は自分だけのものではない

自分の周りがかんで亡くなっている人がいないということはないと思います。それでも検診を受けず、がんで亡くなる人が後を絶たないのはどうしてでしょうか。これは、命は自分だけのものだと考えている人があまりにも多いからだと思います。命が自分のものであることは間違いありません。自分が責任を持つものではないのです。友人、家族、地域の人々、いろいろな場面で会う人たち、そういう人たちと共に生きているのです。できるだけ長くみんなと一緒にいて、歴史を作る責任が人間にはあると思います。

